

西日本 ARO StatNet Forum 2026

開催の経緯

九州生物統計支援ネットワークは、2018 年の発足以来、九州地区の ARO や大学等に所属する生物統計家のネットワークとして、半年に一度のペースで情報交換や統計相談事例の共有を重ねてきました。近年は中国・四国地方からの参加も増え、活動の輪は九州の枠を越えて西日本へと広がりつつあります。

この間、東京大学・京都大学における AMED 生物統計家育成推進事業の後押しもあり、臨床研究を支える生物統計家は全国で着実に増えてきました。その一方で、ARO に所属する生物統計家の業務そのものに焦点を当て、互いの仕事や課題を率直に語り合う場は、これまで多くありませんでした。機関ごとに環境や体制が大きく異なるなかで、生物統計家同士が経験を共有し、連携を深め、その役割と価値を対外的に発信していくことは、今後ますます重要になると考えています。

こうした背景から、九州で育ったこのネットワークを「西日本 ARO StatNet」としてさらに発展させる第一歩として、オンサイトイベント「西日本 ARO StatNet Forum 2026」を開催する運びとなりました。

本フォーラムの趣旨

本フォーラムは、西日本 ARO StatNet が初めて開催するオンサイトのネットワークイベントです。各機関からの現状報告とパネルディスカッションを通じて、多様な環境・体制のもとで ARO 生物統計家（データ管理者を含む）が日々直面している課題を共有し、今後の連携とサポート体制のあり方を前向きに検討します。

あわせて、医療データサイエンスの方法論に関する最近のトピックスの講演や、統計相談事例を題材としたワークショップを企画しており、日々の業務に活かせる研鑽と交流の場となることを目指しています。

対象

ARO・大学・研究機関等で臨床研究支援に携わる生物統計家、データ管理者をはじめ、本テーマに関心をお持ちの方は民間企業の方も含め、どなたでもご参加いただけます（参加無料。全国からのご参加を歓迎します）。

開催概要

日時：2026 年 11 月 5 日（木）午後・11 月 6 日（金）午前

会場：レソラ天神（福岡市）

参加費：無料（懇親会は実費負担）

主催：西日本 ARO StatNet

共催：統計数理研究所医療健康データ科学研究センター、京都大学医学研究科臨床統計学講座

ワークショップ『統計相談の実践：事例検討を通じて』のご案内

ARO に所属する生物統計家のもとには、研究者から日々さまざまな統計相談が寄せられます。研究デザインの選択、解析方法の妥当性、限られたデータからどこまで言えるのか、教科書どおりに答えが出ることは少なく、各機関の生物統計家がそれぞれの現場で判断を積み重ねているのが実情です。

本ワークショップでは、実際に ARO で受けた統計相談の事例（治療法などの具体的な情報は一般化してあります）を題材に、参加者が少人数のグループに分かれて検討を行います。相談を受けた立場で「自分ならどう対応するか」をグループで話し合い、その結果を発表していただき、全体で振り返ります。

進め方

- 事例提供者が、相談の内容を紹介します
- グループに分かれて、対応方針を検討します
- 各グループから検討結果を発表します

以上をいくつかの事例について繰り返します

他機関の生物統計家がどのように考え、どのように答えているのかを知る機会はありません。日頃の相談対応を持ち寄り、互いの引き出しを増やす場にしたいと考えています。統計相談の経験の長短は問いませんので、ぜひご参加ください。当日はご参加の皆さまにいずれかのグループへ加わっていただきます。グループ分けを事前に行いますので、登録時に参加のご希望をお聞かせください（登録時に以下の項目についてご回答をお願いします）。

職種：学生、生物統計家（アカデミア）、生物統計家（企業）、その他

統計相談の経験年数：1 年未満、2～5 年、5 年以上）

関心のある業務領域：治験（医師主導治験含む）、治験を除く介入研究、観察研究

ワークショップへの参加：参加する、参加しない

タイムテーブル

1 日目：11 月 5 日（木）

時刻	時間	内容
12:30	30 分	受付開始
13:00	10 分	開会の挨拶
13:10	60 分	現状報告セッション 『ARO の統計解析業務の現状と展望（1）』

		廣瀬将行（九州大学病院 ARO 次世代医療センター） 今井匠（神戸大学医学部附属病院 臨床研究推進センター） 高守史子（広島大学病院 広島臨床研究開発支援センター）
14:10	15 分	休憩
14:25	60 分	現状報告セッション 『ARO の統計解析業務の現状と展望（2）』 松林潤（滋賀医科大学医学部附属病院 臨床研究開発センター） 山川茜（神戸医療産業都市推進機構 医療イノベーション推進センター） 橋本賢勇（熊本大学病院 総合臨床研究部）
15:25	15 分	休憩
15:40	20 分	パネルディスカッション 『ARO の統計解析業務の課題整理と今後の連携』
16:00	40 分	特別セッション 1 『生物統計家の人材育成』 柳川堯（久留米大学 バイオ統計センター）
16:40	10 分	休憩
16:50	30 分	特別セッション 2 『医療データサイエンスの方法論： 今日からはじめる転移学習：予測における異質性の影響をどう防ぐか？』 松井孝太（京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 医療データ科学分野）
17:20	10 分	事務連絡
18:00	2 時間	懇親会

2 日目：11 月 6 日（金）

時刻	時間	内容
9:00	30 分	受付開始
9:30	30 分	特別セッション 3 『医療データサイエンスの方法論： FWER 制御のもとでの多重検定の検出力向上の考え方』 二宮嘉行（統計数理研究所 数理・推論研究系）

10:00	30 分	特別セッション 4 『統計相談から研究への発展』 中倉章祥（久留米大学 バイオ統計センター）
10:30	10 分	休憩
10:40	100 分	ワークショップ 『統計相談の実践：事例検討を通じて』 廣瀬将行（九州大学病院 ARO 次世代医療センター） 川添百合香（長崎大学病院 臨床研究センター）
12:20	10 分	閉会の挨拶

▼参加申し込みはこちら

<https://arostatnetforum202611.peatix.com/>